友愛

発行所 友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10 電話大塚（94）2801
編集兼発行人 渡辺昇
定価 1部10円

鳩山一郎先生の遺影に誓う

第六回全国大会開く

第六回全国大会は既報の通り、五月三日・四日の両日、日刊工業新聞社工業技術会館（東京都千代田区飯田町）において開催された。今大会は、鳩山一郎会長亡きあとのわれわれの決意を誓い合う意味からも各方面から注目されていたもので、大会に集まった全国各支部代表一二〇名は勿論オブザーバーとして出席した多くの会員も、今までの大会にみられない熱のこもった発言をおこない「友愛の火は消えず」の合言葉が、実感としてくみとれた。

入会申込は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇
友愛青年同志会

開会式

からりと晴れ上った五月の空に鯉のぼりが泳ぐ、五月三日、全国大会は、まず午前九時三〇分より開会式によってはじめられた。

会場には、例年とことなり、故鳩山一郎会長の遺影がかざられ、悲しみをふみ越えて、友愛運動の推進を誓い合うために参集した全国の代表を、あのほえみをたたえたまなざしで、導びき、見守るが如く感じられた。

開会に先だち、故鳩山一郎会長のみたまに対し「黙祷」がささげられ田中準備委員長が、今大会の意義を強調する挨拶をおこなったのち、鳩山薫夫人が故鳩山一郎会長の遺志を継ぎ友愛運動を推進するとの心強い挨拶があり、引続き、川崎秀二副会長が立って今後の本会の方向に対する意見を中心にした、高い調子の挨拶をおこなった。

日ソ協会理事長馬島僴氏、日本健青会会長末次一郎氏の両氏が来賓を代表して祝詞を述べ、地方代表の挨拶は鶴巻東京都連委員長、重野京都府連委員長の両君がおこない、最後に全員による「友愛の歌」合唱で開会式の幕を閉じた。

鳩山薫新会長

本会議（一日目）

開会式終了後、一旦休憩したのち仮議長に五十嵐常任幹事を選出、稲尾資格審査委員長（常任幹事）の報告があり、これを全会一致で承認して、ここに第六回全国大会は成立した。引続き、谷大会選挙委員長（長野・本牧支部）より、今大会日程及び選挙について報告があり、これも全会一致で承認した。

こゝで議長団の選出にうつり議長に鎌田修次君（山口・山口支部）副議長には蓬田健一君（栃木・日光支部）松原明男君（学生部・日歯大）をそれぞれ選出し、議長より大会書記（書記長鶴巻克雄君・東京都連）の任命がおこなわれた。

渡辺事務局長の一般会務報告は、本会が故鳩山一郎会長の遺志をついでますます結束を固め、友愛運動を国の内外にわたって積極的に推進している現況を中心に昨年度の運動の成果を発表するとともに反省すべき点なども指摘した。

なお次におこなわれた会計報告は大西経理部長が、公用のため欠席したので渡辺事務局長がかわって報告、あらためて第二日目の本会議開会冒頭大西経理部長より報告することとて了承した。

今大会の付託議題は、第一号議題第九号議題までが本部提出で第九号議題が学生部提出、第十号議題は地方支部（尾道支部）提出となっており、これを正式に決定し、第一分科委員会に第一、第二第十議題を、第二分科委員会に第四、第六、第八、第九議題、第三分科委員会に第三、第五、第七議題をそれぞれ付託して審議する旨議長から発言があって第一日目の本会議の議事を終った。

本会議（二日目）

大会第二日目の五月四日は、午前九時一〇時より前日に引続き、各分科委員会とも付託された議題の審議をおこない、それぞれ予定通り終了した。十一時三〇分からは「全綱領及び会則を検討する決議」については、本部を代表して、深津中央教育指導部長が立って「重大な問題を含んでいるので、この際決議の持つ意味の解釈を統一しておきたい」旨発言し、第三分科委員会担当の北川綜務部長及び提案者である学生部代表者よりくわしい事情の説明を求めるなど各代表にも重要性を徹底させるとともに、正式な機関を設けて検討することを要望としてとりあげることで本部側も了承し、別稿の通り決議された。

以上三分科委員会で審議された、昭和三十四年度運動方針並びに事業計画をはじめ、今大会に提案された十議題はすべて委員長報告通り決定し、最後に新役員を全会一致で承認、後進に道をゆずって常任幹事の職から退いた深津常任幹事より、役員を代表して挨拶があり神崎征治君（北海道・宮島沢支部）によって大会宣言文が読みあげられ、鎌田議長発声による友愛青年同志会の万才三唱で、二日間にわたっておこなわれた第六回全国大会の幕を閉じた。

× × ×

大会終了後同会場において、特に故鳩山一郎会長をしのぶ映画会を開催し、意義ある今大会のしめくくりとした。

開会式で挨拶する川崎副会長

役員選挙委員会

昭和三十四年度の大会選出役員を今大会に一括推薦するため、大会二日目の五月四日十一時三〇分より、大会前の会議室において各専門部長決定のため委員会を開いた。

同委員会では立候補及び推薦のあったものを、第三分科委員会で審議決定した。役員選出要項にもとずいて、それぞれ決定し、その結果を委員長の丸山達君（大分・別府地区）より報告し、本会議にて正式に決定してもらうことにした。

なお同委員会の委員は次の通り。

吉川昇一（北海道）早川広中（東北）蓬田健一（関東）鶴巻克雄（東京）熊谷典治（中部）重野誠男（近畿）高橋殿宣（中国）広瀬正則（四国）丸山達（九州）富田靖（学生部）伊藤宗宏（学生部）稲尾守正（本部）

昭和三十四年度役員

会長　鳩山薫
副会長　川崎秀二　奥田吉郎
幹事長　稲尾守正
常任幹事
五十嵐省吾　奥田吉郎　北川登　川手正一郎　鶴巻克雄　早川忠光　宮本康一　柳沢定勝　渡辺昇
事務局長　渡辺昇
【地方選出】
今久男（北海道）高木正明（北海道）神崎征治（北海道）川村勝政（岩手）菊地文夫（福島）蓬田健一（栃木）石原政男（栃木）篠田義一（東京）田辺省吾（東京）町田英彦（長野）折口博司（富山）大森茂夫（岐阜）五十嵐昭男（三重）稲村延（京都）丹生康成（大阪）磯部政一（大阪）高橋晨宣（広島）佐藤正治（山口）十川昭五（香川）安田勝（徳島）矢野秀敏（福岡）諸口梅雄（福岡）
【学生部選出】
伊藤崇宏（中大）松原明男（日歯大）飯塚洋太郎（早大）宮田靖（日大）山口剛史（近畿大）
【本部選出】
吉川昇一（北海道）熊谷典治　重野誠男　土井昭道　鎌田修次　丸山達　大塚忠次郎　早川広中　松井政治　尾形智旭
監査　橋村芳延　大塚忠次郎
統制委員
北川登　鶴巻克雄　宮本康一　蓬田健一　土井昭道　早川広中　篠田義一　木村幸三郎　前岡誠　山田省吾
常任参与　深津栄一
参与　柳沢漫　近藤春雄　加藤清一　竹内重郎

第六回全国大会提出議題

（本部提出）
第一号議題　昭和三十四年度運動方針並びに事業計画
第二号議題　昭和三十四年度予算案に関する件
第三号議題　会則及び規則一部改正に関する件
第四号議題　昭和三十四年度組織活動方針に関する件
第五号議題　青少年の野外活動強化育成に関する件
第六号議題　故鳩山一郎会長顕彰事業実施に関する件
第七号議題　昭和三十四年度役員選出に関する件
第八号議題　大会宣言に関する件
第九号議題　友愛思想普及のための印刷物発行および図書の充実に関する件
（学生部提出）
第十号議題　友愛思想啓発に関するクラブ設置に関する件
（地方部提出、尾道支部）
第十号議題　友愛組織のロック代表が参集して役員選挙委員会を開いた。

各専門部長決る

先般開催された本年度第一回常任幹事会で各専門部長及び今後の常任幹事会運営が、次の通り決まった。

× × ×

総務部長　北川登
組織部長　川手正一郎
同　次長　尾形智旭
国際部長　鶴巻克雄
企画部長　宮田靖
文化部長　早川忠光
情報宣伝部長　稲尾守正
地方対策部長　早川広中
学生対策部長　宮本康一
経理部長　渡辺昇
（婦人対策部長については会及び友愛婦人会と打ち合せの上後日決定する）

× × ×

友愛編集局長　渡辺昇
同　次長　伊藤崇宏
同　次長　中村勇一
中央教育指導部長　深津栄一

× × ×

政策委員会委員長　奥田吉郎
財政委員会委員長　川手正一郎
社会保障制度研究委員会委員長　柳沢定勝
経理部長　渡辺昇
アジア問題研究委員会委員長　五十嵐省吾

常任幹事会は、本年度の組織機構改正によって毎月二回第一月曜日午後六時より開催するが、具体的な会の運行については、別に部会会議を随時開催して処理することになった。

雑感

▽風寒き五月、新緑映えてなんとなく若々しい気分にしたれる季節となった。

▽先には鳩山一郎会長を失い、悲しみにつつまれた本会ではあったが、尾道に春友愛山花が咲き、第六回全国大会も無事終了し、故人の遺志をつぐ固い決意は、一段と結束して、おちやかな雰囲気のうちに打ち立てられた。

▽新会長には鳩山薫夫人が就任し副会長以下の役員も決まり、ここに本会の陣容は整い、本年度活動の火ぶたは切られたわけである。全国大会に集まった各地の代表もそれぞれ決意を固め地元に帰り報告会や支部総会を開いていることと思うが、全国大会の感激をそのままさらく各会員に伝え、統一組織の強化を発揮するよう、本年度は特に強く要望したい。

▽九州の会員と北海道の会員が互いに訪問し合うことは、いまさら、うら会組織の拡大が感ぜられるのは、私ばかりではないだろうか、当事者としては無事に終了しただけでも"ほっと"した気持になるもので、直言子もその気持はわかり過ぎるぐらいわかっている。とはうらものの時期や日程をはじめ、まだいろいろまで気をつけて、これで良いのかどうか充分検討することを忘れたってはならないだろう。

▽大会を無事終えるだけでも、本部の苦労は大きく、遠く九州・北海道をはじめ各地から集まった代表の努力も大いに買うべきところも小言めいたことをいって申訳ない感じているが、やはりいわなくてはならないような気がする。大会は本会の最高決議機関であることを忘れないためにも、大切なことである。

第六回全国大会
各分科委員会の討議

今大会に提出された議題は、本部提出の第一号議題昭和三十四年度運動方針並びに事業計画をはじめ八議題と、学生部提出の第九号議題友愛思想普及のための印刷物発行および図書の充実に関する件、地方支部提出（尾道支部）の第十号議題友愛慰問クラブ設置に関する件等で、それぞれ第一・第二・第三分科委員会に付託して審議した。

各分科委員会の討議内容は別稿の通りであるが、今大会は特に代表者をしぼった関係もあって実践運動の経験者が多く、実際にそくした建設的な意見を述べていた。

第一分科委員会
運動方針原案通り可決

第一分科委員会は、五月二日午後一時より開会され、まず委員長に早川広中君（福島・会津若松支部）を選出し、本部側の担当役員深津・鶴巻・大西・渡辺の各常任幹事より、付託された第一号議題昭和三十四年度運動方針並びに事業計画、第二号議題昭和三十四年度予算案、第十号議題友愛慰問クラブ設置に関する件の提案理由を聞き、それぞれ質疑応答をおこない、第一及び第二号議題を原案通り可決し、第十号議題は一部修正して可決、五月四日午前十一時三〇分閉会した。なお書記は鶴巻良雄（東京都連）松井政治（学生部）の両君が担当した。

議題審議に先だち早川委員長より「本年度事業の先後を予算面でも充分考慮していることがうかがい知れた。また地方支部への助成費が組まれているので、その基準を明確にしてもらいたいとの意見に対し、本部側では、会費二〇〇円中五〇円を助成費にあてることを徹底させ、それを基礎にして出来る範囲の予算を計上しているのでその場合は事前に本部と充分連絡するよう要請した。そのほか人件費について専従者には出来る限り、充分な手当を支給するよう要望して昭和三十四年度予算案を原案通り可決した。

昭和三十四年度運動方針ならびに事業計画については、提案理由の大略を渡辺事務局長が説明し、補足説明を深津・鶴巻の各常任幹事がおこなった。

第一分科委員会

議題審議順序について発言があり、渡辺事務局長は、例年通り予算案を先議した後運動方針並びに事業計画の審議に移りたいとの提案をおこない、各代表ともこれを了承して、会議は開会された。

昭和三十四年度予算案については提案理由の説明を渡辺事務局長がおこなった。その説明の要旨は、本年度予算案の特徴が友愛予算の編成によって収入・支出とも例年より相当の減少をみせているが、各項目とも無理のない額で、この種団体の予算としては充分といない迄もかなりなところ迄いっているものと考えていると強調し、予算案に対する質疑応答は、まず収入の部の確実性について各代表より本部側の説明を求めることではじめられ、賛助会費・寄付金に比して、入会金・会費及び事業収益が少ない点をつく意見が多かった。しかし収入を増やすことは、会員一人一人の自覚をまって努力する以外にないことを承知しての発言なので、本部側も各担当役員がこもごも立って、発言者の熱意に答えていた。

次に支出の部に移り、例年より各支出項目が平均化されていることは良い傾向であるが、それだけに余裕がなく、予備金の使途を適正にすべきであるとの意見が述べられた。また地方支部への助成費が組まれているので、その基準を明確にしてもらいたいとの意見に対し、本部側では、会費二〇〇円中五〇円を助成費にあてることを徹底させ、それを基礎にして出来る範囲の予算を計上しているのでその場合は事前に本部と充分連絡するよう要請した。そのほか人件費について専従者には出来る限り、充分な手当を支給するよう要望して昭和三十四年度予算案を原案通り可決した。

昭和三十四年度運動方針ならびに事業計画については、提案理由の大略を渡辺事務局長が説明し、補足説明を深津・鶴巻の各常任幹事がおこなった。

第一分科委員会

本年度の運動方針では、故鳩山一郎会長の遺志を継いでものわれわれであるとの決意をあらたにして友愛運動の推進を誓いあうものであると前文でうたい、国内外の情勢を分析し、われわれの進むべき道を明確に示している。特に事業計画については、例年のような八方美人的要素を除き、講習会や助け合い運動に重点を置き、効果的に事業をおこなうことにしているのが特色である。

これらの質疑応答の主なものは、次の通りである。

伊藤（中大） 組織活動を活発に展開することに異存はないが、友愛思想本来の姿からして、手段はえらぶべき方が妥当と思うがどうか。

深津（本部） 組織活動について落にいわれることなく、思想を徹底させることも論大切でその意味からは、やたらと会員のみを増すのは危険をともなうが、だからといって組織体として会員が一人でも多くなることを期待しないわけにはいかない。要ずるに両方を調整することによって会の発展をはかることが望ましいのである。

真武（福岡） 友愛山荘建設計画の先送はわれわれも望むところであるが、出来れば当初発表された計画を推進されたい。なお小規模の山荘については各支部独自で建設することも至難でないと思うが本部側の意向はどうか。

渡辺（本部） 山荘は御承知のように当初の計画より現在着工しているところが皆大きくなり、募金の現状では四ヵ所にしぼらざるを得ない。しかし各支部で建設する気運が持ち上れば当然本部としてもやぶさかを得ないと思うが、具体的には山荘建設委員会で充分検討してもらい、この問題は処理してもらう考えである。

そのほか各組織活動に対する適確な指示を要望する声が多く本部側もこれを了承して運動方針並びに事業計画を原案通り可決した。第十号議題の友愛慰問クラブ設置に関する件は尾道支部の提案で高橋支部長が提案理由を説明、各代表ともその趣旨に賛同したが、多少内容を変更した方が良いのではないかとの意見が多く、提案者もこれを了承、このクラブを任意のもとして出来るだけ各支部につくるように要望するよう内容に変更した取扱いを早川委員長に一任、二日間にわたる審議を終った。

第二分科委員会
故鳩山会長の顕彰

第二分科委員会に付託された議題は第四号議題昭和三十四年度組織活動方針に関する件、第六号議題故鳩山一郎会長顕彰事業実施に関する件、第八号議題大会宣言に関する件、第九号議題友愛思想普及のための印刷物発行および図書の充実に関する件の四議題で、委員長は宮本順一君（学生部）書記に河田善之輔君（学生部）小菅宮太郎君（東京都連）の両君を選出した。

なお本部側の担当役員は、奥田、川手、柳沢、の三落任幹事である。

会議は主事同志紹介にはじまり、宮本委員長より議題の審議順序及び議決権の確認がなされ、審議に入った。

第四号議題の組織活動方針については奥田組織局長より提案理由が説明され、昨年度の反省と、過去六ヵ年にわたって全国的に拡大された組織の充実をめぐって活発に討議された。主な意見をあげれば次のとおりである。

丸山（大分・別府地区） 九州ブロック事務局の設置と綱領綱領の地方版発行について本部側の考えはどうか。

菖田（山口支部） 県連結成に力を注ぎ、地方活動を効果的に展開すべきであり、県連の自主性についても考慮してもらいたい。

重野（京都府連） 関西事務局設置の話しは早くから聞いているが実現がおくれていることは、考えなければならない。

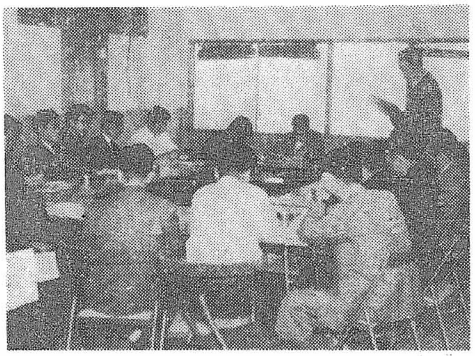
以上のような意見でもわかるように本年度組織活動の重点が、県連の結成及び支部の充実に置かれた討議の結果、

資格審査委員会
大会運営委員会

第六回全国大会開会にさだって、五月二日午後六時三十分より九段会館において、資格審査委員会及び大会運営委員会が開催された。

【資格審査委員】
神崎（北海道）菊地文夫（東北）藤田健一（関東）田辺克育（東京）服部斉（中部）山川昇（近畿）磯部政一（大阪）渡辺敦人（中国）広瀬正則（四国）矢野秀敏（九州）松原明男（学生部）伊藤宗宏（学生部）鶴巻良雄（本部）稲尾守正（本部）

【大会運営委員】
神崎（北海道）菊地文夫（東北）藤田健一（関東）大塚忠次郎（東京）熊谷典治（中部）橋村芳雄（近畿）丹生誠成（大阪）溝渕殿宣（中国）広瀬正則（四国）矢野秀敏（九州）富田鶴巻良雄（学生部）宮本順一（学生部）鶴巻良雄（本部）稲尾守正（本部）


第二分科委員会

第三分科委員会
会綱領再検討の決議

第三分科委員会の委員長は篠田善君（東京都連）が選出され、書記に宮本義雄（山口支部）平野隆子（尾道支部）の両君を任命して開会された。同委員会には第二号議題の一部改正に関する件、第五号議題青少年の野外活動強化育成に関する件、第七号議題昭和三十四年度役員選出に関する件が附託され、それぞれ本部側担当役員である北川、早川、稲尾、五十嵐の各常任幹事より説明があり審議に入った。

議題の審議は第二号、第五号、第七号の順序でおこなうことを決め、まず北川総務部長より第二号議題の提案理由説明がなされ、ついで早田善之輔（日大）の発言に端を発して、まず北川総務部長より第二号議題の審議順序及び規則一部改正の提案及び全般的に再検討すべき時期にきているのではないかとの意見が大勢を示し付帯決議事項として本会議に提案すべきであるとの結論に達し、その決議案文を第一日目の議事が終了後、委員長と提案者の宮田君に本部側を代表して北川総務部長が加わり作成することで会則又び規則一部改正は多少の反対意見があったが多数で可決した。次いで第五号議題の青少年野外活動強化育成に関する件に移り友愛山荘建設運動の進展にともない山荘を活用する運動をおこなわなければ真の建設運動とはいえないとの意見が本部側よりあり、その具体的方法で代表と本部側との間に質疑応答があってこれは全会一致で原案通り可決した。

続いて第七号議題の新役員選出要項の審議をおこない、五十嵐信意部長の説明にも手き、新たに設けられる幹事長をはじめ各役員の人員を決定し、五月四日正午までに立候補、推薦を受付けることに一致で原案通り可決した。

なお五月四日は別日開催となった決議案等をめぐって活発に討論され、別稿の通り要望決議の形をとって本会議に提出することとして、第三分科委員会は閉会した。

会綱領・会則に対する要望決議

本会は結成以来すでに六ヵ年を経過し、会綱領及び会則に関し今回の改正点以外にもなお再検討を要すべき点があると考えられる。依って新常任幹事会は、適当な機関を設けてこれの審議検討を行い、次年度全国大会にその結果を答申されるよう要望する。右議決する。

昭和三十四年五月四日

第六回友愛青年同志会全国大会

友愛山荘―尾道―

瀬戸内海を一望

料金　350円（一泊二食付）
収容人員　70名
申込先
・広島県尾道市千光寺公園内　尾道友愛山荘　TEL 尾道 5554
・東京都文京区音羽町7の10　日本友愛青年協会　TEL (94) 2801

東南アジア訪問記（二）

北川　登

カンボディア
若さあふれる
建設途上の新国家

薄紫の闇の夜明けを飛んで、プノンペンに到着したのは、二月十日午前八時のことであった。機窓はるかにベトナム富士と呼ばれるタイニン山の秀峯を眺め、足下に延々とつづく緑のジャングル、曲りくねったクリークの景観を眺望して、うかつにもわれわれは到着時の緊張を忘れていた。

一級の歓迎陣　飛行場に降り立った一行の最初の目についたのは約五十名余りの制服制帽の一小隊（実際軍隊に似えて）であった。が、まさかこれがカンボディア王国社会主義青年同盟の歓迎陣だとは、うかつにも気のつかなかったのである。盛大な出迎を受けて感慨深いて当方も別仕を感えた。聞けば、プノンペン地区司令官フン氏の指揮の下に、大臣をも含んでの出迎えであった。三十歳代の青年が国政の第一線で活躍し、あらゆる分野で青年が重要な役割を果しているというその実情を、また知らないわれわれにも、青年が尊重されている感動や、絶大な親日感に溢れているとが、目にも皮膚にも知らされたわけである。

青年の国　早速と訪問したその本部で、幹部と交換、互いに自己紹介の後青年同盟次長（総長はシアヌーク首相）イム・ティット氏（兼社会事業相）を囲んで懇談会やら、意見の交換を行った。アルバムなどを示してその説明によれば、総面積十一日にはシアヌーク国王を始め、青年同盟の幹部（その中には大臣でも三十歳代が多い）が、堤防造りや道路建設に混まれになって勤労奉仕をするのである。総国王、首相、大臣そうである。総国王、首相、大臣その人が、共に国土建設の肉体労働に従事する、これは感激的なことであろう。その説明をしている間、次長も並ぶ幹部も一様に眼を神やかな笑顔を示していたからであるの誇りを示していたからであろう。そんな雰囲気でもカンボジアは貧困な農民生活　十二・三世紀にこの国の栄威は大いに輝き、今もなお「アジアの神秘」として、ジャングルを背景に擁え立つアンコール・ワットなど、国内至るところに壮麗な寺院を建設した。しかし、四〇〇万人の人口中九十%を占める農民の生活は、二十世紀の今も大古と殆んど変りはない。農耕も収穫も昔ながらの原始的な作

北川　登

アンコール・ワットは12世紀末に500年の歳月を費して完成した古代クメール王朝の一大仏跡。太湖の湖畔ジャングルの中に周囲5．5kの正方形の堀をめぐらし、高さ42mに及ぶ五つの主塔の他石造りの多くの回廊、建築物からなり、正面には大四面像の門がある。広大な庭と泉水をもち舞踊場が芝生につき出ている。特に多くの回廊（石造り）に彫刻されたクメール時代の歴史物語、神話などの浮彫は見事なもの。14～5世紀タイの侵略以後放棄されたまま、1861年仏人ムーオによって発見されたが、そのかくされた歴史と建築上の世界的驚異という点で世界七不思議の一といわれ映画にもなった。

カンボディアの漁夫

薬を繰り返しているにすぎない。改良とか科学化、機械化の風潮は彼等の他所の出来事のようであり、また増産への積極的意欲はみられるべきもない。写真に見るように、竹やヤシの葉で作られた網の高い小屋に灰事業具すらなく仕掛けられた網に魚が入ると、切り取った稲は地面に敷いて生に踏ませ、落穂を拾い集めるとか、といった原始の明け暮れである。しかし他面贅沢立つ壮大なワット（塔）が聚落のある所、一つは必ずみられる。それを怪しむのは、残念ながら唯外国の旅行者のみなのである。

熱心な教育　若き為政者の教育に対する熱意は素晴らしい。「教育」は国家建設の基礎なのだ。がそれも、今は寺小屋等校千五百、生徒総数七万七千、中等教育は学校数僅か八校女子徒は十名に満たない。これが公立の全国統計だ。従って二千六百九十六もある寺院及び六千五百余名の僧侶が教育面で尽す献身的な献身すごすことが出来ない。仏教はこの国の憲法で定めた国教でもある。

静かな冷戦
米・ソの経済援助

自主的中立政策がこの国の外交方針である。しかしこの国の貧困は外国の経済援助を否がおうを得ない。例えば経済五ヵ年計画も一億ドルの予算中九〇%が外国の援助に依存している。そこで、自由、共産両陣営の静かな経済冷戦が演じられることになる。例えば、

米国……弧丸道路三百万ドル
仏国……港湾施設と船舶
ソ連……病院（五〇〇ベット）
建設
中共……セメント、製紙工場

といった工合である。そして眼に見えるかざりでは、共産陣営の病院、工場の方が立派なものに映るようであった。

盛んな歓迎……滞在中この国の各方面から受けた歓迎は、誠に心温まるものであった。シャムレアップまで三七〇kのバス旅行が、楽しいものであったも、同行の青年同盟の諸兄や途中の部落毎に透過してくれた同盟部の万達の献身的な誠意が陸にあったからである。そして、「さよなら」をする日の飛行場には、実に五名の現職大臣が見送りに来られ、さしもの大使館員をも驚かせたことである。

タイ

僧侶と寺院の国
象徴的な貧富の明暗

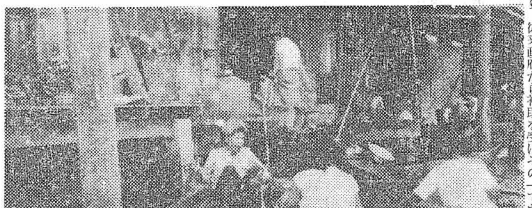
タイ国に滞在したのは、二月十四日から十九日迄の五泊六日である。しかし、この国で会った青年団体はボーイスカウトと青年会議所の二団体のみで、主眼は教育施設、農業施設、市場等の視察におかれた。

戒厳令下の首都　ピブン前首相の亡命以降、タイの政情も安定したかのように見えているが、一行の訪問時のバンコックは戒厳令にあった。到着早々の深夜の飛行場でそれを聞かされ、そこから宿舎に行く迄一度検問を受けるに及んでいささか緊張した。ところがこの緊張感は一夜が明けたその日から遂にタイを去るその日まで雑の頭からもすっかり忘れ去られていた。つまり戒厳令は市民の日常生活にいささかの影響も与えていない。いや、戒令にあることを全然知らない市民の方が遥かに多いのらしかった。

独立国での独立意欲　この国は日本の敗戦と同時に対米英蘭戦の無効を宣言して敗戦国のうき目を逃れ独立を全うした。そして今はNATO（東南アジア条約機構）の本部を始め十いくつかの国際機関の事務局をもち、東洋のジュネーヴの観がある。この独立の保持と自他ともに許す外交の巧みさがこの国の誇りなのである。

ところが、われわれが訪問したボーイスカウトでは、当面の最大関心事は「独立」だという。つまり、従来政府から補助を受けたり、指揮、監督をうけていたことから「独立」をかちとるのだという。そして本年四月から独立を許されたから、服や肩章など官給のものは一切捨てるのだと意気込みの高い話であった。

僧侶と寺院　ここでも仏教の力がすべてを支配する。国民の九十%が仏教徒で男子は必ず一度は僧門に籍を置く。ワット・プラ・ケオアルン、ボウなど壮大華麗な寺院の休立は、国民の敬心をひくのに十分その役割を果している事実等参りは観光の目的となっている。僧侶は朝早く托鉢に歩く、市民は喜気の立つ御飯を捧げ、僧侶はこれをうけるだけで一切口をきかない。



メナム河のフローティングマーケット

地方選挙当選者
（名誉役員の当選者は除く）

渡部恒三

福島県会議員　渡部恒三（26）
福島県南会津郡田島町永田

河村成勝

関市会議員（岐阜）　河村成勝（35）
岐阜県関市西門前町

阿尾彰

八尾市会議員（大阪）　阿尾彰（34）
大阪府八尾市木の本町久宝寺

十中勝吉

久留米市会議員（福岡）　十中勝吉（32）
福岡県久留米市野中町三三

伊藤昌弘

墨田区会議員（東京）　伊藤昌弘（31）
東京都墨田区緑町一の五

大川村会議員（香川）　十川昭五（27）
香川県大川郡大川村西

参議院議員立候補者
（名誉役員の立候補者は除く）

北海道（地方区）　前谷宏（33）
北海道札幌市琴似町新川

北海道青年協会を結成するなど青年から青年運動に生きがい

先の参議院選挙には三十一才で立候補し、惜しくも落選している。本会には一昨年入会し北海道の組織工作の先駆として活躍している。現在北海道支部連合会結成準備委員。

岡山県（地方区）　加藤武徳（43）
岡山県笠岡市用之江

中央大学卒業後内務省に勤務、昭和十九年応召、復員後は地方

本会には早くから入会し岡山県連合会結成に力をつくし、結成当初は副連合会の名誉会長であったが、現在は副連合会長として岡山県各支部の統一に意を注いでいる。

県庁の各課長を歴任、昭和二十五年岡山県から参議院議員に当選し参議院議員の最年少者として自由党の副幹事長などの要職にあって活躍していたが昭和三十一年の参議院選挙に惜しくも次点で落選した。

女王の師範学校……文部省学外課のニイタボリコン課の案内で、スワン・スワンダ師範とその附属小中学校を訪問した。この学校の名称はじめなられた女王の名を冠したもので、学長ロング夫人も生徒もそれを誇りとしている。きけば歴代王室の教育費用はすべて伝統的なものであるらしい。しかし、生徒の無邪気な表情に比して学校当局者はやはり経営が苦しいという。P・T・Aはないので、バザーや寄付集めを申するらしい。だが、師範の卒業生は勿論最高一百名、初任給も五五〇バーツ（約一万円）で悪くない、最高時見た給食はわれわれの〝ホテルの食事並みで、喰っている小・中学校の生徒の表情は喜々として明るかった。

ドイツ製の精米機……タイは世界一の産米国、従ってメナム川流域（特にバンコック周辺）には精米工場が多い、ところが遊休期間が長くなって、一行の希望にそって動いている工場を見つけるのに大使館の方は苦労されたらしい。やっと大きな工場を見つけて訪問した際そこが西独製の精米機を使っているのを見て一度ビックリ。米の国は日本と東南アジアのみであるのに……とドイツの科学、それを売りこむ方法に全く驚かされた。工場の人は、日本の機械も優秀だがドイツや中共に比べてアフターサービスが頗る悪いという。勿論それはがいではなく米は細長く乾燥原が高くて日本製精米機が合わないこともあるのであろうが一行は落たんした。

軽井沢

高原の初夏を迎えて

友愛山荘

7月1日より開設

講習会・林間学校・合宿等に御利用下さい

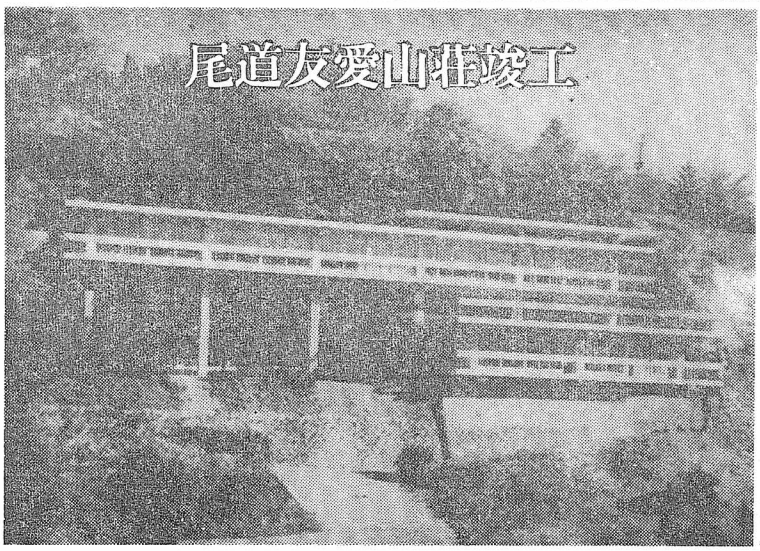
料　金　350円（一泊二食付）　収容人員　70名

申込先　東京都文京区音羽町7の10　日本友愛青年協会

TEL　(94)　2801

感激もあらたなこの日

鳩山薫委員長が出席



尾道友愛山荘竣工

風薫る四月二十五日、新緑の千光寺公園において、待望の尾道友愛山荘竣工式が挙行され、東京から故鳩山薫建設委員長を始め、故鳩山一郎会長令息威一郎氏、令嬢信子さん、秘書石橋湛雄氏、北川建設委員会事務局長らが出席、友愛青年同志会から川崎秀二副会長、奥田、五十嵐、川手、福尾各常任幹事など多数が参列した。また地元からは天野建設委員長、高橋禎一衆院議員、小林尾道市助役他の来賓、本会尾道支部の会員等二百名余が出席し、二ヵ年に及ぶ汗の結晶を眼の前にして、感激的な式典が挙行された。

式典は午後一時、竹橋尾道市商工課長（尾道友愛山荘建設委・事務局長）の開式の辞に始まり、神事、経過報告―高橋実行委員長―があって、川崎秀二副会長、天野尾道山荘建設委員長、設計者曽原国蔵氏の順でそれぞれ挨拶が行なわれた。続いて鳩山薫委員長から浜水建設関係者、天野市長、設計者ら

感謝状の授与

に感謝状と記念品の授与が行なわれ、本会尾道支部には表彰状と記念の額が贈られた。

故鳩山会長 画像の贈呈

―尾道の漕上画伯から―

ここで、尾道在住の漕上曼太郎画伯から故鳩山会長の肖像画贈呈が行われた。これは同画伯が去る二月に上京して会長をスケッチし

婦人会員との懇談会に出席した鳩山薫夫人

記念講演会開く

市民四百名が参集

記念式典が終った午後七時半から市内七峯小学校で「竣工記念大講演会」が催され、約四百名の市民が集まり二時間半にわたる講演会は盛況を極めた。演題及び講師の主なものは次の通りであった。

友愛運動の前進（川手正一郎）
友愛山荘建設の意義（北川登父と友愛運動（鳩山威一郎）
友愛精神を尋ねて（平岡初枝）
ユースホステル運動（槻山竹吉）
尾道友愛山荘を見て（鳩山薫）

各紙大々的に報道

今回の尾道友愛山荘は、一、わが国初の本格的ユース・ホステルたものを、会長逝去の悲と同時に斎戒沐浴し一ヵ月余を費して完成したもので、まるで生けるが如き見事な出来栄え、ゆかりのこの日直接鳩山薫夫人に贈られたものである。これは別項の如く、全国大会の会則にも飾られ、出席代表がひとしお感慨を新たにした。

この頃、盛んに各種週刊誌者のフラッシュがたかれ、テレビのアイモが動く。そのライトを浴びて鳩山薫委員長から、故会長の五十日祭にあたるこの記念すべき日に竣工式が挙行されたことは、故人への何にもまして餞けと思いますと、胸をうつ謝辞が述べられた。

次いで高橋代議士、小林助役、三宅市議会議長、金尾商工会議所会頭ら来賓の祝詞があり、午後三時四十分式典は参列者感激のうちに閉会した。

式典にひきつづき、二階ホールにおいて記念祝宴が催され、昨日届けられたばかりの木の香も新しいテーブルで祝杯があげられた。

中天に輝く雲一つない春の陽を浴びて、そこここで歓談の渦が巻くのも青年の施設の開所式にふさわしい。

特にこの日は、近隣の山口支部岡山、倉敷、児島の各支部や海を越えて香川県の支部からも本会の支部関係者が続々と参列した。そして、鳩山薫先生を囲んで、その喜びと感激を共にした。恐らくその想い出は生涯忘れることなく、友愛の団結と一層強固なのにすることであろう。

記念の撮影もあちこちで行なわれ、座がなごやかになるについて、鳩山薫委員長はスターの扱い。やがて人々の群れは散々伴々、山荘内で夕陽を浴びて輝く三階の食堂は渡辺市長に移る。三階の食堂は渡辺市長に移る。三階の食堂は渡辺市長に移る。